

損保ジャパン東郷青児美術館入館者累計500万人達成

損保ジャパン東郷青児美術館は1976年7月に開館し、今年7月で36周年を迎えましたが、2012年12月4日（火）に入場者数が500万人に達しました。

同日500万人目の入館者、秋田穂（あきたゆたか）様（東京都在住）には原口館長より記念として〈ひまわり〉複製画・額入りを贈呈いたしました。秋田様は、ゴッホ〈ひまわり〉を鑑賞するため今回初めてご来館されたそうです。「ゴッホ〈ひまわり〉は、ガラス越しでも絵具の厚さを感じることができ、迫力が伝わってきた。元気をもらった」と感想を述べてくださいました。

損保ジャパン東郷青児美術館の開館当時の入館者は、毎年2万人前後で推移して参りましたが、1987年のゴッホ〈ひまわり〉公開以降、〈ひまわり〉のある美術館として多くの入館者を迎えるようになりました。最近では年6回の企画展の開催により、毎年17万人前後の入館者を迎えております。なお、500万人目の来館者は所蔵作品展「絵画をめぐる7つの迷宮—終わりのない探求」（11月17日～12月24日）開催の中での達成となりました。

